

川通中だより

学校教育目標：向学 自立 協働

さいたま市立川通中学校 TEL 048(799)1061 FAX 048(799)0436

子どものために

校長 矢部 尚

新年おめでとうございます。生徒、保護者、地域の皆様には、健やかな良い年をお迎えのことと心より喜び申し上げます。年末年始は天候にも恵まれ、初詣で今年の抱負を祈願された方も多かったのではないかと思います。今年1年が充実した年になりますよう祈念申し上げます。

さて、昨年1月に鴻巣市の県立学校に通う一人の女子高校生が鴻巣警察署から感謝状を贈られました。内容は、以下の通りです。高校生が下校をする際、途中の県道で新聞紙や折り込みチラシが大量に散乱しているのを目の当たりにしました。一度は通り過ぎたものの、「何もしていない自分に辛くなった」と戻って来ると、コンビニでゴミ袋を購入して、信号が青になる度にひたすら拾い続けたそうです。署員が来た時には、ゴミ袋3袋、計10kgの古紙が回収されていました。持ち帰り方法に悩んでいた彼女は、署員を見て安心して涙したそうです。彼女の行動の背景には、部活動で日頃から学校周辺のごみ拾いなど美化活動をしてから朝の練習に取り組んでいたことがあり、「学校でもやっているのだから当たり前と思って拾いました」と言ったそうです。

今、3年生を対象に面接練習を行っています。3年生は、学年の先生から事前に指導を受けていることもあり、大変緊張をしている生徒もいますが、誰もが身だしなみや態度、言葉遣い等しっかりとしていました。これも、日頃の学校生活での積み重ねがこのような場面で現れているのだと感じました。その中でも、話し方で印象に残っている生徒が二人いました。一人は、敬語の使い方が上手な女子生徒で、もう一人は、言葉に思いやりが伝わる男子生徒です。本人たちは、そのことについて特に意識しておらず、目上の人に対して日頃使っている言葉が出てきたのだと思います。そして、この成果は、3年間の部活動を含めた学校生活や家庭での生活の中で培ってきたものだと感じました。また、先月に用水路に落ちた高齢の方を本校3年生の金子君、ハシム君が救出をしました。引き上げるだけでなく、119番通報もしたため、無事に回復できるそうです。実は、この3週間前に本校では、救急救命についての講演会を行っていました。人の命を救うのには、知識だけでなく勇気が必要であることを講師の方は、自身の体験談を交えて話してくださいました。

美化活動をした女子高校生や人命救助をした本校3年生の行動は、簡単にできることではありません。日頃の生活体験が困った人に手を差し伸べられる力になったのだと思います。また、日頃の生活の中で、生まれ鍛えられた場に応じた言葉づかいが、緊張していた面接練習でも自然にできたのだと思います。

昨今、子どものために、手を貸し過ぎる大人が増えています。しかし、手を貸してもらうことに慣れてしまうと、やってもらうことが当たり前になり、人のために役立つという気持ちが弱くなるように思えて仕方ありません。

「子どもは、家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」という言葉があります。家庭で生まれた思いやりの心や人のために尽くそうとする奉仕の心を学校が、実践できる行動力を身につけられるように鍛えていき、地域の方に褒められて自信をつけていく。父、母、教師、ご近所の方、立場が違っても、子どものためにできることも変わってきます。時に大人が子どものためにできることをあえて行わないのも子どもの成長にとっては、大切なことかもしれません。川通中学校の子どもたちは、そうした家庭と地域、学校のつながりの中で成長をしているのだと思います。

保護者の皆様、今年度も残り3ヶ月となりました。新年度、期待に胸ふくらませて生活していくためには、この3ヶ月間の子どもたちの成長は欠かすことができません。学校生活も含め、子どもの様子で何か気付いたことがございましたら、どんな些細なことでも構いませんので、学校にご相談ください。

輝く川通中生 (敬称略)

県歯・口の健康啓発標語コンクール

入賞 1-1 岩本 真透

さいたま市中学校冬季体育大会(ソフトテニスの部)

男子個人戦1年生の部 第5位(出場認定証 さいたま市B代表)

1-2 相川 智洋・1-2石島 暖之 ペア

男子個人戦2年生の部 第5位

2-1 松岡 良樹・2-2小島 健豊 ペア

女子個人戦1年生の部 第3位(出場認定証 さいたま市A代表)

1-1 足立 陽彩・1-1渡辺 はるか ペア

女子個人戦2年生の部 第5位

2-2 井本 桜来・2-3小島 久実 ペア



埼玉県科学教育振興展覧会地区展・第17回さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会

優良賞 科学技術部 題目 紙飛行機の紙の種類よっての滞空時間を調べる

1-1 浅野 杏奈・井口 稚菜・新坂 真凜・野口 耀也・萬年 美月

1-2 金子 愛翔・齋藤 正喜・堀口 幸聖

2-1 伊藤 優貴・小原 瑠菜・小山 航・清水 彪雅・志村 俊祐

2-2 五十嵐 太一・伊藤 聡理・徳島 魅斗

2-3 伊藤 友也・山信田 丸

第17回さいたま市理科教育研究発表会

優良賞 科学技術部 題目 いろいろな酸性の液体でスケルトン卵を作ってみよう

2-1 伊藤 優貴・小原 瑠菜・小山 航

2-2 五十嵐 太一・伊藤 聡理

2-3 伊藤 友也



さいたま市人権標語

入選 1-1 足立 陽彩・萬年 美月

2-1 木村 結菜・2-3 渋谷 藍

3-3 澁谷 星奈・利根川 祐樹

さいたま市人権作文

入選 3-2 直島 奈々美

全国人権作文コンテスト埼玉県大会さいたま人権擁護委員協議会地区予選

入選 3-2 岩佐 朋哉

全国人権作文コンテスト埼玉県大会さいたま地区予選

入選 3-1 小原 愛佳・加藤 千聖・小脇 竜平

3-2 岩佐 朋哉・田畑 那緒・小熊 みのり

3-3 金田 翔吾・並木 優奈・盛田 美瑞樹・柳沢 侑緋



人命救助を実行した勇気ある川通中生

12月20日(水)の夕方、大口地内の用水路に落下してしまっていた高齢者の方を、3年2組の金子 雅空君とジャハンギール・ハシム君の二人が地域の方と共に、その高齢者の方を救い上げ、救急搬送に貢献するという人命救助に活躍してくれました。この活躍に対し、岩槻消防署・岩槻警察署と一緒に人命救助をされた地域の方から、感謝とお褒めの言葉をいただきました。特に一緒に人命救助をされた地域の方は、わざわざ来校され、「大人でも、躊躇するかもしれない状況だったにも関わらず、二人は何のためらいもなく、高齢者の方を救うために、行動を起こしていた。勇気ある二人をぜひ褒めてあげてください。」というお言葉をいただきました。二人の勇気に敬意を表すとともに、素晴らしい生徒が在籍している本校に、一層の誇りを持ちたいと思います。

